

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 353

事務事業名	農道維持管理事業	
基本目標		活力に満ちた産業のまち
政策	040103	魅力ある農林水産業の振興
施策		農地の保全と有効活用
関連施策		

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	農林水産部		
課名	農林整備課		
課長名	松崎 文彦	内線	267
担当者名	片山 康平	内線	259

事業類型	3	施設維持管理(補修)事業(義務)
個別計画	大村市農村環境計画	
重点事業		

会計	一般会計		
款	6	農林水産事業費	
項	1	農業費	
目	5	農地費	
事業コード	030000	農道維持管理事業	

【PLAN(計画)】

対象(者)	市所有の農道		
誰(何)に対して事業を行うか			
意図	農道としての機能を維持し受益者及び一般利用者の利便性及び安全性を確保する。		
対象をどのような状態にしたいか			
事業概要	舗装補修、側溝補修、側溝浚渫、区画線設置、融雪、交通安全施設設置などを請負契約により実施する。		
意図を達成するために実施することは何か			
事業期間	平成 年度	～	平成 年度
実施方法	直営		
根拠法令、要綱等	法定外公共物管理条例		
国・県補助事業に係る本市単独施策	無		

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① 維持管理延長	計画値	27,819	27,819	27,819	27,819	
		実績値	27,819	27,819	27,819		
	達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%		
	② 除草延長	計画値	27,819	27,819	27,819	27,819	
実績値		2,500	0	0			
達成度	%	9.0%	0.0%	0.0%			
成果指標	① 苦情、要望件数(件)	計画値					
		実績値	30	16	17		
	達成度	%					
	②	計画値					
実績値							
達成度	%						

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	11,907	2,547	4,310	4,995	2,163	2,163	2,163	0
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他	76	78	63	62	104	104	104	
一般財源	11,831	2,469	4,247	4,933	2,059	2,059	2,059	
② 人件費(千円)	1,589	2,731	2,899	3,042	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	0.20	0.35	0.39	0.41	農道の補修等	農道の補修等	農道の補修等	
時間外勤務(時間)		43	74	30				
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	13,496	5,278	7,209	8,037				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

<b>事業の進捗状況</b> 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	農道の維持補修を行い適切な維持管理を行った。 老朽化した松原地区農道橋の架け替えを平成28年度9月補正にて対応。
<b>事業が抱える問題・課題等</b>	経年劣化による農道の補修や以前に設置された農道橋など安全上重要である構造物の架け替えが必要な時期となっているため、今後予算措置を行っていく必要がある。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
有効性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	平成15年に策定した、公共工事コスト削減対策「大村市新行動計画」に基づき公共工事のさらなるコスト削減に努める。						
【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし		
道路として不特定多数の利用者がいるので、負担を求めることは困難である。							

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入しておりません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持	
--------	------	--

<b>内容</b> 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	農道橋など安全上重要である構造物の架け替えが必要な時期となっているため、現況調査を行い危険度を把握する。
<b>効果</b> 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。